

営農だより 第5号

おいしいをつくりましょ。



発行 令和3年5月6日
北駿産米改良推進協議会
JA 御殿場 営農課
0550-84-4820

- 目標**
- ①食味値 80 点以上
 - ②『米ぬか』使用の土づくりによる食味向上、循環型農業の実践

～植え付け本数(3～4本)、 深さ(2cm)で田植えが出来ましたか～

ほ場によって植付本数を変えましたか？

適正な莖数(穂数)を獲得することが食味向上のポイントです!!

今年の4月は、一時的な降水量が多かったものの日照時間は長く、気温は平年並みに推移しました。苗の生育は若干寒さや風に当たったものも見受けられましたが、基本的には順調に生育していたようです。5月から向こう1カ月は平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並みで日照時間が多く、降水量がやや少ない予報となっています。

苗が短い場合は植え傷みしないよう田植え機を速度を控えめにし、ゆっくり浅植え(2cm以上の深植えをしない)で葉が水没しない水管理をお願いします。

田植え後の水管理はこまめに行ってください。良食味米生産のポイントである太く、揃いの良い分けつを確保するため、水管理を徹底して下さい(可能な場合、5月中下旬より深水管理)。また藻類の発生は初期生育の阻害となるため、早めの防除を行いましょ。

【御殿場の気象】アメダスデータ御殿場

項目	平均気温(°C)			日照時間(hr)			降水量(mm)		
	本年	平年	差	本年	平年	%	本年	平年	%
4月1～5日	13.6	9.0	4.6	15.7	25.9	60.6	24.0	45.7	52.5
6～10日	8.9	10.1	▲1.2	42.7	26.6	160.5	0.5	44.6	1.1
11～15日	10.6	10.9	▲0.3	20.0	25.9	77.2	28.5	44.2	64.5
4月前半 計	11.0	10.0	1.0	78.4	78.4	100.0	53.0	134.5	39.4
4月16～20日	11.6	11.7	▲0.1	37.2	25.1	148.2	72.0	42.2	170.6
21～25日	13.0	12.6	0.4	50.3	26.5	189.8	0.5	37.1	1.3
26～29日	12.8	13.4	▲0.6	20.6	22.3	92.4	115.5	26.9	429.4
4月後半 計	12.5	12.6	▲0.1	108.1	73.9	146.3	188.0	106.2	177.0
4月 計	11.8	11.3	0.5	186.5	152.3	122.5	241.0	240.7	100.1

注意

補植苗は必ず撤去しましょ!!

補植苗はいもち病の発生原因となります。ほ場内に置いてある補植苗は、補植後速やかに撤去をお願い致します。

【令和3年度 育苗巡回結果】～来年に向けた考察～

4月前半は比較的暖かい日が続きました。今年は病気(カビ)や焼け苗の発生も少なく、苗は順調に生育していました。

4月11日の明け方に低温となり、この時に低温に当たった苗は若干の生育不良が見受けられましたがその後は好天に恵まれ、田植え時には生育が揃ってきました。また浸種時の水が温まり芽が伸びすぎて籾同士が絡まり、播種がうまくいかなかったという農家も散見されました。浸種時に水が温まってしまう場合は浸種を日陰で行い、最初の停滞水を行った後は水をかけ流しましょ。

育苗期間中に生育ムラが見られるのはハウスやトンネル内の気温や日光の当たり方や、灌水方法が要因となることもあります。苗箱の位置を置き換えたり、朝に水をたっぷり与えるよう心がけましょ(灌水用の水がお湯になっていないことを確認しましょ)。

昨年は低温に悩まされましたが、今年の4月は暖かい日が続き徒長が懸念される気候でした。毎年同じ管理とはいかず難しいことが多くありますが、天気予報やハウス内の温度管理を徹底し、夜間は保温、日中は涼しい管理などと冷温をうまく使い分けて、来年も丈夫な苗づくりを行いましょ。

【水管理】

太く揃いの良い分けつを確保するには、水管理が重要!

★ 田植直後は深水にして苗を寒さや風害から守る。

稚苗の活着限界温度は12°Cです。日中の入水は行わず、深水で苗を保温してあげましょ。寒い日、夜間冷える日、寒風が吹く時にも深水にして水の保温力で苗を保護しましょ。丈が短い苗は水没しない程度で管理しましょ。

★ 活着(田植え後5～7日)後、浅水管理で「分けつ」を促す。

2～3cmの浅水管理(2～3cmの水深が最も水温・地温が上がる)により良質な分けつを促進しましょ。

★ 夕方・夜に入水し、朝止めることで水温確保に努める。

夜、用水の温度が水田の水の温度を上回ります。そのため夜間に水をいれ、朝の仕事前に水を止めることで温かい水を保つことができます。日中のかけ流しは絶対に行わない!!

★ 有害ガスの発生が多い場合は1～2日落水する。

水田に足を踏み込んだとき気泡の発生が多い場合は、水の更新や落水するなどしてガス抜きをしましょ。田植え後およそ20日頃からガスの発生がみられます。

土壌への酸素供給や有害物質の除去を図り根を健全に保つためにも、水田へ入って土壌の様子を確認しながら必要に応じてガス抜きを行いましょ。

※除草剤散布後、7日間は落水、掛け流しを行わないでください。
また、中後期除草剤を使用する場合はガス抜き後施用しましょ。

【藻類の対策】

生育初期に藻類が発生すると、分けつの確保を妨げるため早期防除を心がけましょう !!

対策～モゲトン粒剤を散布。2～3 kg/10 a (エコ栽培米圃場は散布不可)

※モゲトンは晴天の暑い日に撒くと効果的です。

発生が少ない圃場

～ ペースト使用の田・サラブレッド KAI・シリウスエグザを使用した田
(表層剥離に登録のある除草剤)

発生が多い圃場

～ 表層施肥、入水頻度の多い漏水田

【除草剤】

水管理と散布時期が重要 !!

- 除草剤の処理層ができるには3日程度かかります。
除草剤散布後3日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水・掛け流しをしない。
- 散布時期は、それぞれの除草剤の使用適期に使用する。
(遅すぎると除草剤の効かない雑草の葉齢となってしまう。)
- 多年草雑草(クログワイ・オモダカ等)が多い圃場はレブラスを使用した体系処理をし、それでも雑草が残る場合は後期除草剤(バサグラン等)を施用し、3年程度かけて徐々に少なくする。

それでも雑草が残ってしまったら・・・

ヒエだけが残った場合 ⇒ クリンチャー1^キ粒剤(ヒエ4～5葉期まで)

ヒエと多種類の雑草が残った場合 ⇒ クリンチャーバス ME 液剤(ヒエ5葉期)

多年生雑草が多く残った場合 ⇒ バサグラン粒剤

※クリンチャーバス ME 液剤とバサグラン粒剤は落水状態で使用して下さい

《重要》『田植え時の葉齢』

稚苗：2.3葉 中苗：3.5葉

が移植時の基本的な葉齢となっています。

しかし今年は寒暖差の大きい気候だったため、徒長苗と丈の短い苗が両極端にみられました。けれどある程度なら心配することはありません。

徒長苗は根がしっかりと活着するよう田植え後に深水管理をし、丈が短い場合はゆっくり浅植えして葉が水に浸からないよう気をつけましょう。

※ 営農経済センター営業スケジュールのご案内 ※

名称	富士岡 営農経済センター	原里 営農経済センター	あぐりーん 営農経済センター	北郷 営農経済センター
電話番号	0550-87-1014	0550-70-4006	0550-84-4815 0550-84-4895	0550-78-6010
定休日	水曜日・日曜日	木曜日・日曜日	月曜日	水曜日・日曜日
営業時間	8:30～16:30	8:30～16:30	8:30～16:30 (日曜日のみ16:00まで)	8:30～16:30

全店舗で土曜日営業しています！あぐりーんは日曜日も営業しています！！
資材注文・営農相談等、なんでもお気軽にお声がけください😊！！

☆お願い☆ ～農作業のマナー～

田んぼや畑で作業したあと、農耕車輛を圃場から持ち出す際に道路に土を落としたままになっているほ場が見受けられます。作業後は公道へ出る前に土を落とし、道路に土を落とした場合は掃除しましょう。
また川沿いや道沿いの草刈りは刈り上げて行い、川や道へ刈り草を放置しないようにしましょう。

春の農作業安全月間

- 全国で農作業による死亡事故が増えています!!
- 事故防止には、一人ひとりが高い安全意識を持って作業を行うことが重要です!!
- 農作業の管理・利用は、適切に行いましょう!!
- 高齢者による事故、機械操作に伴う事故が多くなっています!!
- 高齢者の方は、自らの心身機能の衰えを十分に意識して、農作業に取り組みましょう!!



管内でも、昨年死亡事故が発生しています。農作業を行う前に、もう一度作業確認を行いましょう。